

An aerial photograph of a port area, likely Nagasaki Port, showing various industrial buildings, shipping docks, and cargo storage areas. The image is overlaid with a semi-transparent blue filter. The text is positioned in the upper half of the image.

令和7年8月 長崎港活性化対策特別委員会資料 貿易の現状と課題

令和7年8月
経済産業部

目次

1 これまでの経緯と現状

(1) 長崎港における貿易

ア 長崎港における貿易の歴史……………P1

イ 長崎港全体のゾーニング……………P2

ウ 各貿易団体の役割……………P3

(2) コンテナ貿易

ア 長崎港活性化センターの概要……………P4－P5

イ 小ヶ倉柳埠頭の概要……………P6

ウ 長崎港におけるコンテナ航路……………P7

エ 長崎港におけるコンテナ貨物量の推移……………P8

オ 長崎港における主なコンテナ取扱品目……………P9

【参考】他港とのコンテナ貿易量の比較……………P10

2 課題と今後の取組

(1) 他港との連携による貨物量の拡大……………P11

(2) 米国の関税措置への対応……………P12

1. これまでの経緯と現状

(1)長崎港における貿易

ア.長崎港における貿易の歴史

年	主な出来事	年	主な出来事
1571	長崎開港（ポルトガル船が長崎入港）	1948(S23)	長崎港の管理を長崎市から長崎県へ移管
1636	「出島」完成	1951(S26)	重要港湾に指定
1689	「唐人屋敷」完成	1972(S47)	「小ヶ倉柳地区公共埠頭」完成
1702	「新地蔵所」完成（新地貨物倉庫）	1985(S60)	「松が枝国際観光用バース」の供用開始
1859	グラバー来崎、「グラバー商会」設立	1999(H11)	韓国・釜山との定期コンテナ航路が就航
1865	坂本龍馬らが来崎、「亀山社中」設立	2019(R1)	「小ヶ倉柳地区公共埠頭」拡張完了

イ.長崎港全体のゾーニング

- …コンテナ輸送エリア
- …在来船輸送エリア



コンテナ輸送
・コンテナによる輸送

メリット
・荷役が容易(コンテナサイズが国際規格で統一)
・貨物が天候の影響を受けにくく、安全に輸送可

デメリット
・コンテナ規格より大きな貨物は輸送不可

在来船輸送
・一般貨物船による輸送

メリット
・コンテナ規格外の重量貨物や長尺貨物などの特殊貨物も運搬可

デメリット
・天候の影響を受けやすく、荷役が容易ではない

ウ. 各貿易団体の役割

JETRO長崎

(日本貿易振興機構長崎貿易情報センター)

【目的】

県内中小企業の貿易など海外展開を支援し、地域経済活性化に資する。

【主な取組】

- ・海外情報(概況・制度・手続き等)の提供
- ・貿易等に係るセミナー、個別相談を実施
- ・海外見本市・展示会への出店支援
- ・海外EC販売支援
(ジャパンモール・ジャパNSTリート)
- ・海外バイヤーの招聘など県内企業とのマッチング支援

一般社団法人長崎県貿易協会

上海事務所

【目的】

県内企業の中国をはじめとした貿易等を振興し、県内産業の発展に寄与する。

【主な取組】

- ・中国情報(概況・制度等)の提供
- ・中国への海外展開・販路開拓等に係るセミナー、個別相談の実施
- ・中国見本市・展示会への出店支援
- ・中国バイヤーの招聘など県内企業とのマッチング支援

長崎港活性化センター

(事務局:長崎市・長崎商工会議所)

【目的】

長崎港の貿易を振興し、周辺産業の活性化と九州の均衡ある発展に寄与する。

【主な取組】

- ・長崎港利用に係るコンテナ助成制度
- ・コンテナ船社との協議
- ・物流事業者、関係団体との協議
- ・集荷活動
- ・人材育成
- ・陳情要望活動
- ・荷主への情報提供事業

(2)コンテナ貿易

ア.長崎港活性化センターの概要

●長崎市貿易協会

(事務局:長崎市)

【主な取組】

- ・集荷活動
- ・人材育成
- ・陳情要望活動
- ・荷主への情報提供事業

●長崎港貿易促進協議会

(事務局:長崎商工会議所)

【主な取組】

- ・集荷活動
- ・人材育成
- ・陳情要望活動
- ・荷主への情報提供事業

重複解消・集約

●長崎港活性化センター(H10.4～)

(長崎市・長崎商工会議所事務局)

【主な取組】

- ・長崎港利用に係るコンテナ助成制度
- ・コンテナ船社との協議
- ・物流事業者、関係団体との協議
- ・集荷活動
- ・人材育成
- ・陳情要望活動
- ・荷主への情報提供事業

構成団体

- ・長崎市
- ・諫早市
- ・大村市
- ・長崎商工会議所
- ・諫早商工会議所
- ・大村商工会議所
- ・島原商工会議所
- ・長崎県
- ・国土交通省
- ・物流企業
- ・荷主企業

ア.長崎港活性化センターの概要

コンテナ助成

- ・コンテナ貿易に係る助成を実施
- ・R6実績 4,695,000円

種別	件数	金額
輸出	28件	2,700千円
トライアル (新規利用等)	6件	220千円
中国・東南ア ジア向け輸出	16件	995千円
原木・木材 輸出	1件	110千円
肥料輸出	8件	420千円
古紙輸出	7件	250千円

貿易相談

- ・各貿易団体との連携強化
- ・貿易相談体制の充実

集荷活動

- ・荷主企業等を訪問し、助成の周知、意見・要望等の聴取を実施
- ・R6実績 県内企業訪問30社

航路振興PR事業

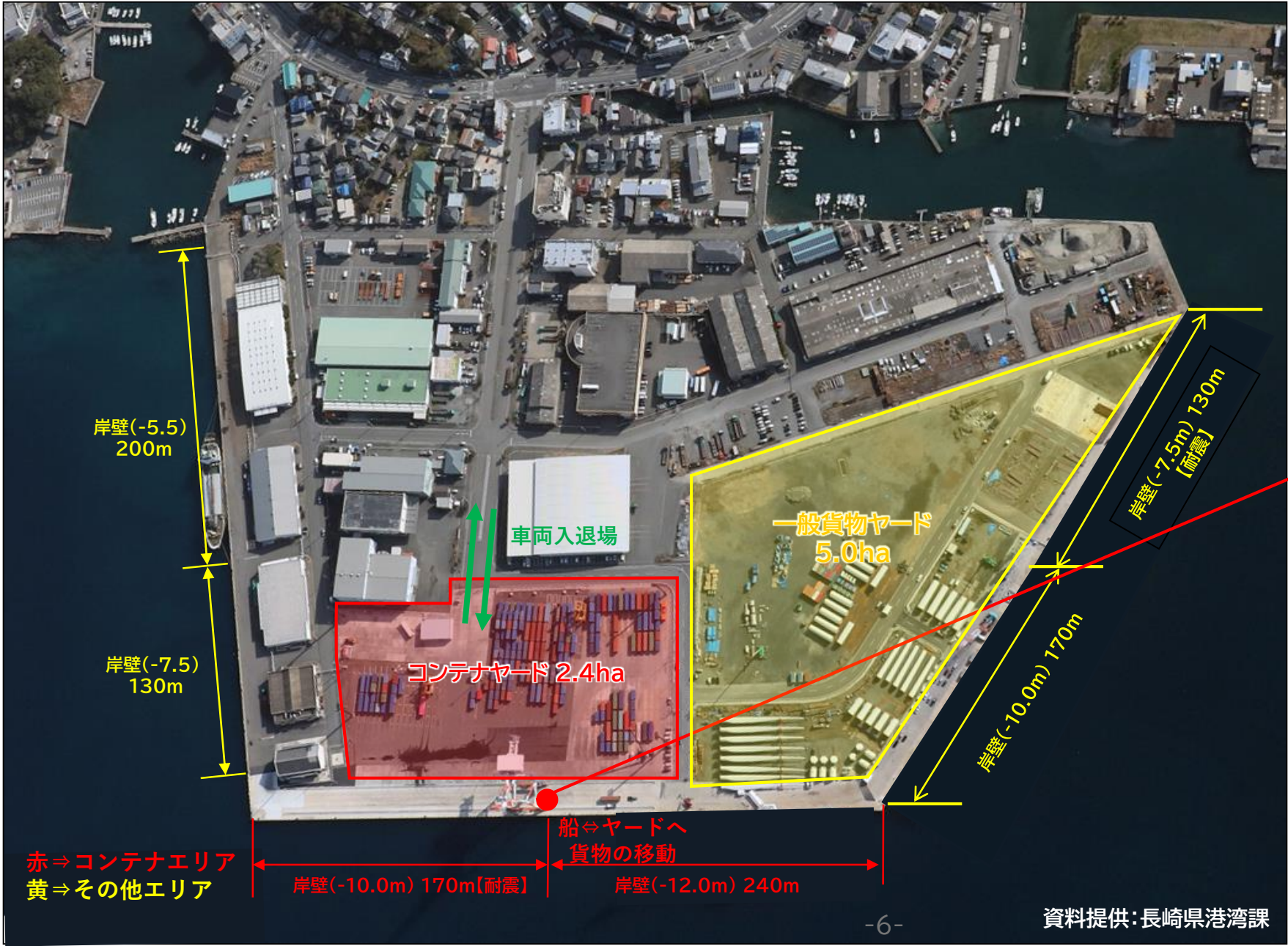
ホームページ、助成制度の案内チラシの作成

人材育成

- ・人材の育成・強化を図るための各種セミナー・講座の開催
- ・JETRO長崎、県貿易協会、日本関税協会長崎支部等との共催

講座名	延べ参加者数
貿易実務講座	35名
長崎港ポートセミナー	135名
経済セミナー	51名
貿易実務セミナー (オンライン)	137名

イ.小ヶ倉柳埠頭の概要



概要	
埠頭面積	14.3ha
一般貨物ヤード	5.0ha
コンテナヤード	2.4ha 蔵置能力521TEU×2段 ※1TEU:20フィート(約6m)のコンテナ
岸壁	水深10m×170m【耐震】 水深12m×240m

ウ.長崎港におけるコンテナ航路

長崎－釜山航路

●週2路線就航

【船会社】

高麗海運(株)

【ルート】

釜山(土)→**長崎(月)**
→熊本(火)→八代(火)
→川内(水)→釜山(木)

【船会社】

長綿商船(株)(シノコー)

【ルート】

釜山(日)→志布志(月)
→**長崎(火)**→熊本(火)
→川内(水)→八代(木)
→伊万里(金)→釜山(土)



長崎－神戸航路

●不定期就航

【船会社】

OOCL(株)

【ルート】

神戸→**長崎**→神戸

エ.長崎港におけるコンテナ貨物量の推移

(TEU)
7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

輸出
輸入

H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6

貨物量は、H30年をピーク(客船事業の貨物増等)とし、R1年以降は4,000TEU前後で推移している。
輸入の割合が多く、輸出は減少傾向である。

TEU…コンテナ個数を表す単位。20フィートコンテナ1個分が1TEU。
(長さ約6m(20フィート)×幅2.4m×高さ約2.6m)

※長崎港活性化センターの各暦年(1～12月)実績

オ.長崎港における主なコンテナ取扱品目

【単位：TEU】

	輸 出					輸 入				
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
第1位	古紙 264	原木木材 480	肥料 454	肥料 305	肥料 176	果実缶詰 749	住宅資材 1,532	住宅資材 1,457	住宅資材 805	住宅資材 1,851
第2位	造船造機 262	肥料 294	原木木材 433	古紙 108	住宅資材 120	造船造機 562	果実缶詰 679	果実缶詰 722	果実缶詰 675	果実缶詰 615
第3位	肥料 260	古紙 280	古紙 100	住宅資材 90	造船造機 68	食品 236	造船造機 230	造船造機 280	造船造機 442	造船造機 308
第4位	原木木材 141	機械類 94	住宅資材 68	造船造機 82	古紙 50	機械類 174	機械類 131	機械類 263	機械類 135	食品 172
第5位	機械類 69	造船造機 70	機械類 34	原木木材 38	機械類 34	原木木材 41	食品 128	食品 160	食品 124	原木木材 99

※長崎港活性化センターの
各暦年(1～12月)実績

【参考】他港とのコンテナ貿易量の比較

【単位：TEU】

順位	港湾名	令和4年			令和5年			令和6年		
		輸出	輸入	計	輸出	輸入	計	輸出	輸入	計
1	博多	400,795	401,581	802,376	418,187	413,905	832,092	398,425	408,780	807,205
2	北九州	210,698	204,043	414,741	213,998	208,422	422,420	209,709	211,151	420,860
3	那覇	36,674	42,654	79,328	36,768	37,123	73,891	36,881	37,233	74,114
4	志布志	38,704	39,750	78,454	31,034	35,956	66,990	33,826	38,322	72,148
5	伊万里	24,558	24,788	49,346	21,389	21,658	43,047	20,815	21,651	42,466
6	大分	15,291	12,294	27,585	18,526	14,127	32,653	17,938	15,672	33,610
7	八代	12,068	11,313	23,381	11,848	11,038	22,886	11,183	9,849	21,032
8	細島	10,645	8,207	18,852	11,019	7,881	18,900	10,339	6,528	16,867
9	川内	10,398	4,762	15,160	8,850	5,540	14,390	9,076	7,509	16,585
10	熊本	3,042	4,827	7,869	3,376	3,615	6,991	2,900	3,395	6,295
11	三池	3,386	4,479	7,865	2,945	3,746	6,691	2,547	2,762	5,309
12	長崎	2,596	3,240	5,836	2,164	2,787	4,951	1,867	3,436	5,303
13	鹿児島	1,972	1,799	3,771	824	792	1,616	1,055	1,091	2,146
14	石垣	467	0	467	543	0	543	466	0	466
計		771,294	763,737	1,535,031	781,471	766,590	1,548,061	757,027	767,379	1,524,406

- ・九州14港のコンテナ貿易量に占める約80%が博多・北九州港を利用
- ・各港の貿易量については、過去3カ年は順位に変動なし

※国土交通省 港湾統計(港別集計値)から算出

※各暦年(1～12月)実績

※空コンテナ含む

2 課題と今後の取組

(1) 他港との連携による貨物量の拡大

【課題】長崎港

- ・貿易量の拡大
- ・長崎神戸間航路(不定期就航)の活用促進

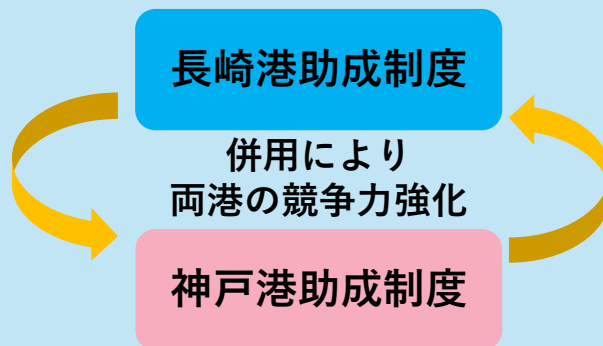
【課題】神戸港

- ・国際基幹航路の維持拡大
- ・国内貨物の集荷(国際コンテナ戦略港湾)

【取組】

神戸港と連携した助成の実施

長崎港から神戸港経由で国外に輸出する貨物等に対し、**両港の助成制度の併用**を可能に



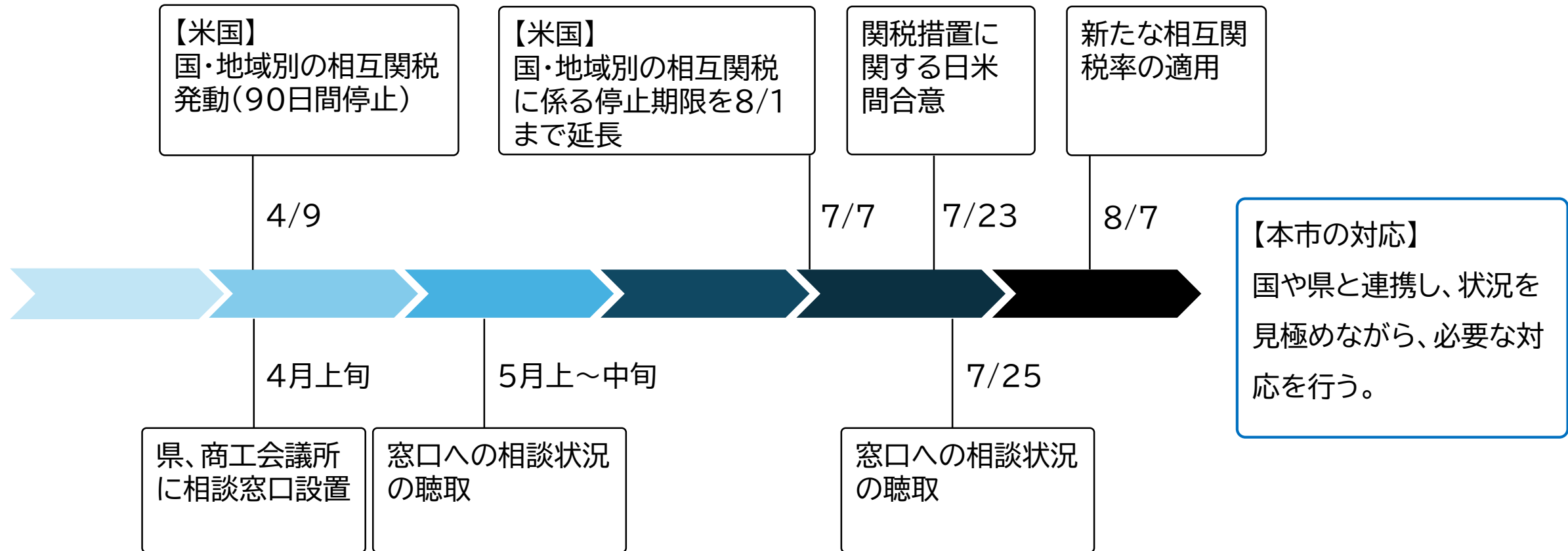
【効果】

長崎港における貿易量の増加



神戸港を經由した国際貨物の増加

(2) 米国の関税措置への対応



- ・長崎港から米国を相手国とするコンテナ輸出入についての実績は0件
- ・関税の影響を受けたことによる窓口への相談は0件(7月末時点)
- ・市内企業への影響は限定的(経済団体からの聴取など)